

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月29日

協議会名: 下野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
石橋タクシー(株)	デマンド交通「おでかけ号」 営業区域: 下野市全域 運行日: 月曜～土曜 運行時間帯: 午前8時～午後6時 運賃: 大人(中学生以上)300円・小学生200円・未就学児無料(ただし、保護者同伴を要する)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約が集中する時間帯に、予約電話がつながりにくいという課題を解決するため、自動音声対応の実証実験(令和5年6月～令和6年3月)を実施した。 ・利用者にデマンド交通の利用方法や現状を発信するため「おでかけ号通信」を発行した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 【目標】 デマンド交通の1日平均利用者数: 70.3人 【実績】 実績: 54.3人 【分析】 登録者の増加により、予約電話がつながりにくい、予約が取りにくい時間帯が増加したことにより、利便性の低減が見られた。即時デマンド希望や1人あたりの移動距離が長くなってきていることから、乗合の割合が低い。	「下野市地域公共交通計画」(令和3年3月策定)に基づきデマンド交通の運行形態を変更し、利用者の増加など一定の成果が見られた一方、令和6年度は利用者が減少に転じた。 【改善点】 <ul style="list-style-type: none"> ・予約電話がつながりやすくなるよう電話対応方法の見直しを実施。 ・AI配車システムによる配車を徹底し、乗合率の向上に努める。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月29日

協議会名：	下野市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>下野市地域公共交通計画の基本的な方針：「市民、交通事業者、行政等が一体となり、住みやすさの向上に寄与する快適で利便性の高い公共交通サービスの実現」</p> <p>上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性：高齢者や子育て世帯など、誰もが快適に移動できる交通環境の整備、利便性向上のため、デマンド交通「おでかけ号」を運行するなど、地域公共交通事業の推進を図っているところです。人口減少や少子高齢化が進展し、交通事業者においても人手不足が今後ますます深刻になることが予測される中、安定した公共交通網を維持していくためには、鉄道、路線バス、デマンド交通、タクシーなど地域における輸送資源の総動員による公共交通システムを検討し、コンパクトシティのまちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通を再構築する必要があります。</p> <p>本市では令和元年10月に上三川町・壬生町と1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の実証運行を開始し、令和4年4月からJR石橋駅～獨協線が本格運行となりました。また、上三川町・壬生町とデマンド交通の相互利用の取組みも開始しました。このように市域を超えた広域的な公共交通網も含めて、利用ニーズに応じた地域公共交通の整備を進めていく必要があります。</p>

地域公共交通確保維持改善事業評価

下野市地域公共交通会議

令和6年度 下野市地域公共交通会議（栃木県下野市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

下野市では、南北にJR宇都宮線が通り、石橋・自治医大・小金井の3駅がある。民間運営のバス路線は、JR石橋駅から宇都宮市方面と真岡市方面、壬生町方面への3路線と、JR自治医大駅と自治医科大学附属病院間の1Km程度の1路線があり、JR小金井駅西口には、小山市のコミュニティバスが乗り入れをしている。

平成23年11月から、市内の交通空白地域の解消を図るためデマンド交通を運行しているが、乗車1時間前の予約や旧町エリアを跨ぐ際に乗り継ぎが必要であったことなどから、利用者数、新規登録者数とも減少傾向にあり、利便性・採算性において課題があった。持続可能なサービスの維持と利便性の向上を目的に令和3年4月に運行エリアや運行形態の大幅な見直しを行い、AI配車システムを導入した。



交通計画の基本的な方針／定性的な目標

市民、交通事業者、行政等が一体となり、住みやすさの向上に寄与する快適で利便性の高い公共交通サービスの実現を目指す。

- ①デマンド交通登録者 現状値(R1年度)3,757人⇒目標値(R7年度)4,000人
- ②デマンド交通利用者 現状値(R1年度)22,703人⇒目標値(R7年度)22,500人
- ③公共交通マップ配布箇所数 現状値(新規事業)⇒目標値(R7年度)10か所
- ④居住誘導区域及び郊外型居住区域の人口密度 現状値(H27年度)46.1人/ha⇒目標値(R7年度)46.4人/ha
- ⑤モビリティ・マネジメントの実施回数 現状値(新規事業)⇒目標値(R7年度)1回/年以上
- ⑥デマンド交通収支率 現状値(R1年度)11.7%⇒目標値(R7年度)13.4%
- ⑦交流人口 目標値(R1年度)223万人⇒目標値(R7年度)280万人

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

- ・近隣市町と連携したデマンド交通相互利用の継続
- ・運転免許証自主返納者支援事業の継続
- ・高齢者外出支援事業の継続
- ・デマンド交通利用講座の実施
- ・市産業祭に出展し公共交通のPRを実施
- ・公共交通アンケートの実施
- ・デマンド交通の現状を発信するため「おでかけ号通信」の発行

アピールポイント

利用者を目的地まで送り届ける「完全ドア・トゥ・ドア」型のデマンド交通を市内全域で運行している。
令和3年4月から県内でもいち早くAIデマンド配車システムを導入し利便性の向上を図っている。
また、利用促進事業として、運転免許証自主返納者、75歳以上の高齢者に外出支援事業としてデマンド交通の回数券の交付を行っている。
令和4年4月(令和3年10月試行開始)から隣接する1市2町(下野市・上三川町・壬生町)でデマンド交通の相互利用運行を実施している。

面積	74.59km ²
人口 (R6.4.1時点)	59,648人
15歳未満	7,195人
65歳以上	16,047人
高齢化率	26.90%

交通計画の計画期間

令和3年4月～令和8年3月

協議会開催状況

- (令和6事業年度に係るもの)
- ・第1回(令和6年6月20日)
フィーダー確保維持計画を協議
 - ・第2回(令和7年1月29日)
事業評価について

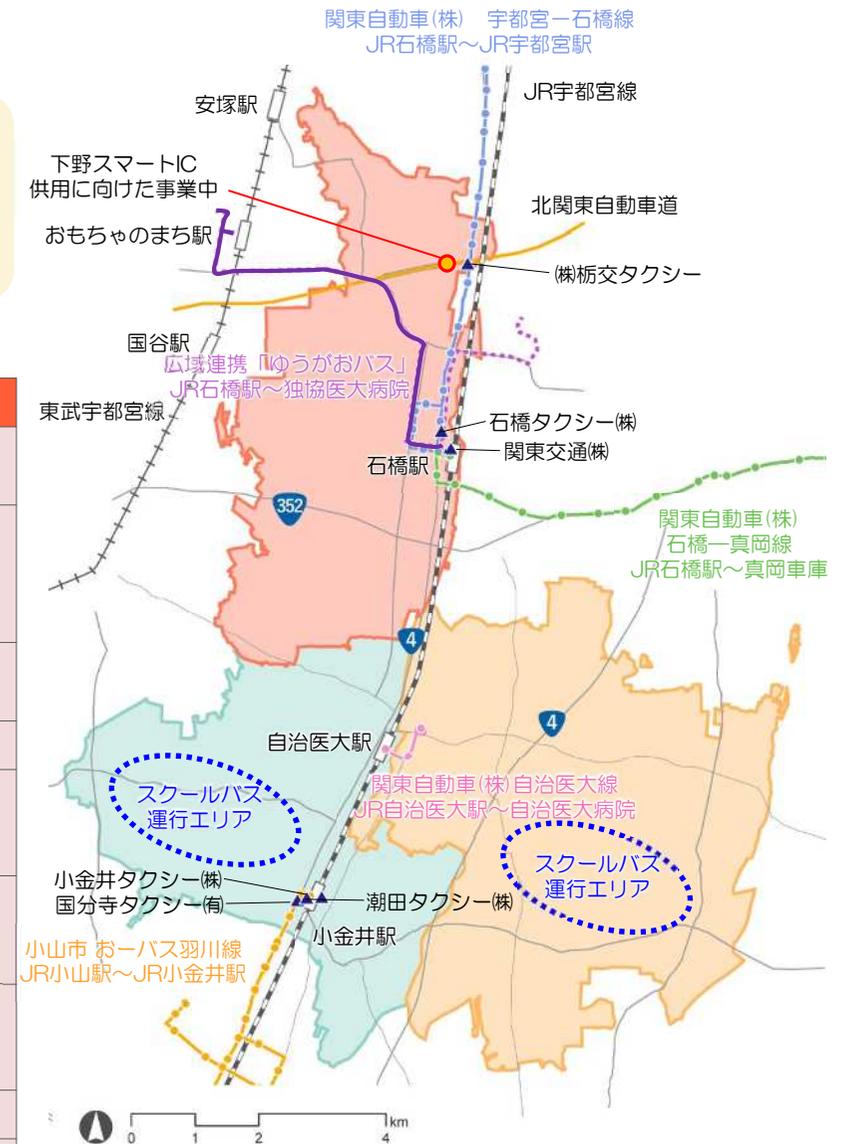
下野市における公共交通体系

下野市の交通網

- 下野市はJR宇都宮線を中心に、路線バスが4路線、他市のコミュニティバス1路線、デマンド交通等が運行している。
- 令和4年4月から広域連携「ゆうがおバス」が本格運行となった。

公共交通に係る種類

種類	事業者	路線等
鉄道	JR	JR宇都宮線 (小金井駅・自治医大駅・石橋駅)
路線バス	関東自動車(株)	宇都宮-石橋線 石橋-真岡線 自治医大線 JR石橋駅~獨協医大病院(ゆうがおバス)
コミュニティバス	小山市	おーバス羽川線
デマンド交通	下野市	おでかけ号 市内全域
タクシー	6事業所 (下野市内に事業所を持つ 栃木県タクシー協会加入事業所)	
スクールバス	下野市	閉校した小学校区の児童を 対象とした通学手段 (国分寺小学校、南河内小中学校)
福祉タクシー	26事業所 (下野市福祉タクシー事業 協定事業所)	※通常の公共交通利用が困難な方への 福祉タクシー利用券の交付事業
福祉有償運送	2事業所	
レンタサイクル	下野市観光協会	市内5か所にステーション

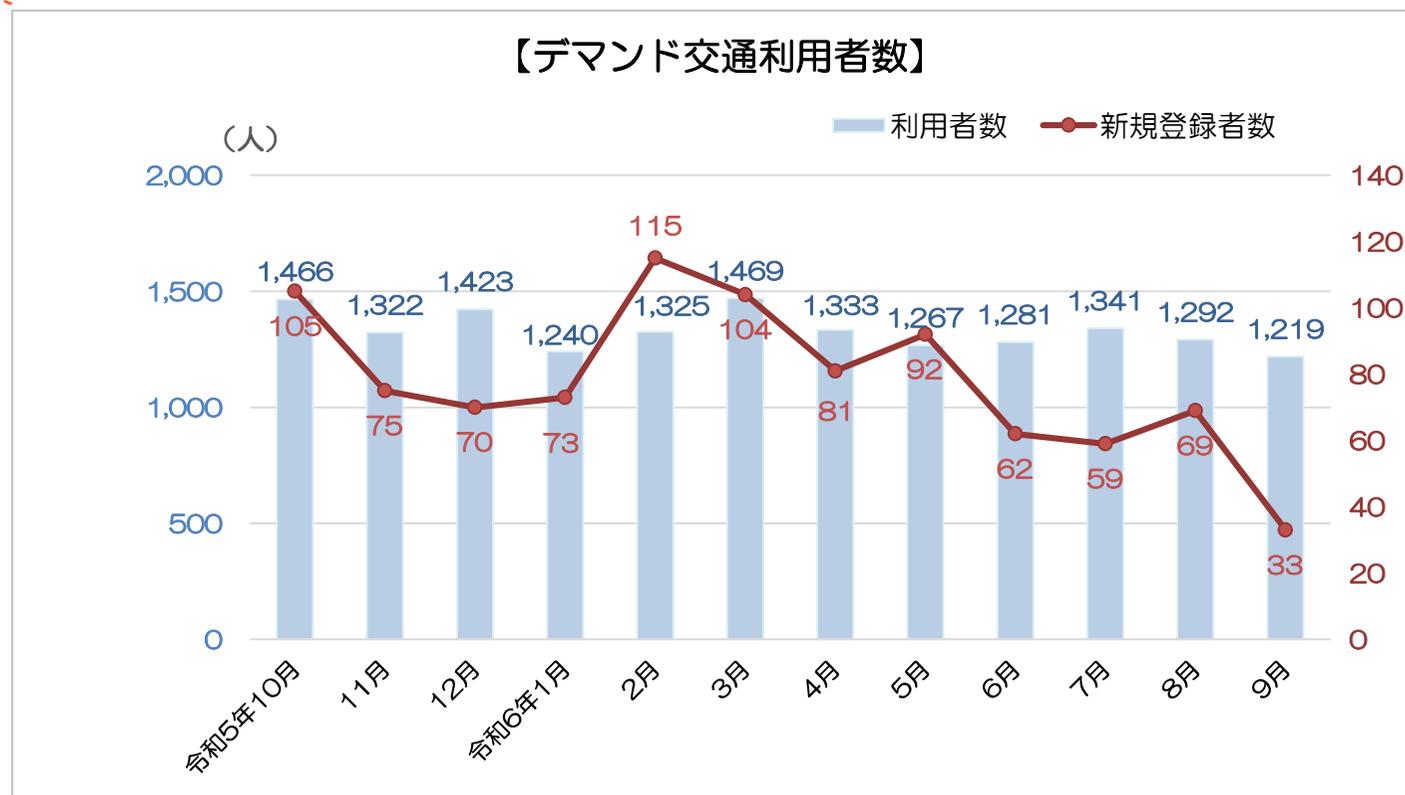


デマンド交通の利用実態

- 利用者は各月でバラつきが見られるが、通院や買い物等の目的での利用が多く、月平均1,330人程度となっている。
- 1市2町(下野市・上三川町・壬生町)による相互利用運行の影響から、新規登録者の約半数は市外の登録者である。

デマンド交通の利用実績

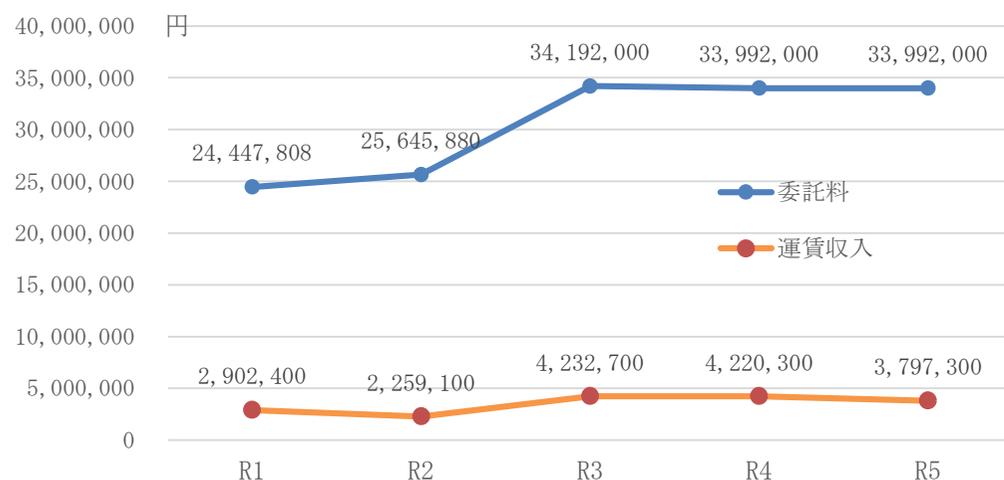
	利用者数
令和5年10月	1,466
11月	1,322
12月	1,423
令和6年1月	1,240
2月	1,325
3月	1,469
4月	1,333
5月	1,267
6月	1,281
7月	1,341
8月	1,292
9月	1,219
合計	15,978



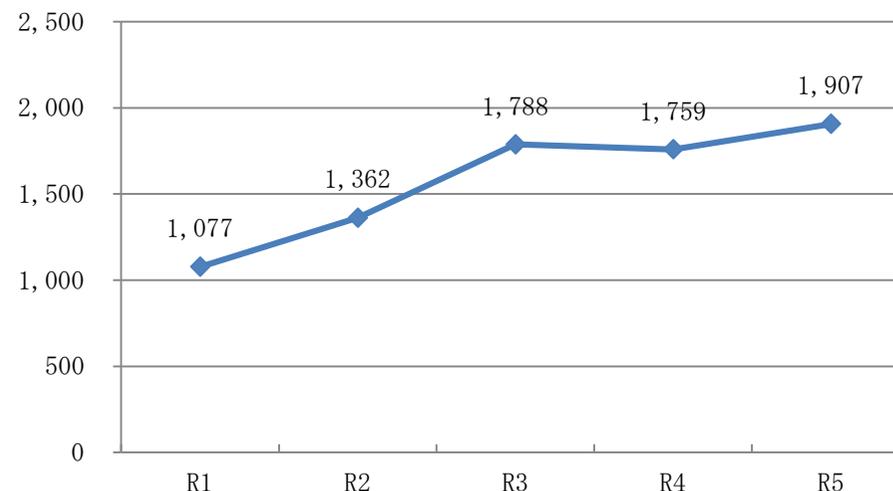
デマンド交通の経費の推移と利用状況

- 市民の移動手段を確保しつつ、運行経費（委託料）と運賃収入の乖離をどこまで許容するか引き続き検討を進める。

【委託費・運賃収入の推移】



【運行経費（一人当たり）】



利用状況 令和5年度実績

運行経費 (運行委託費、燃料費、車検等)	33,992,000 円
一人あたりの運行経費 (年間運行経費 / 年間利用者数)	1,907 円

令和2年度までは、運行エリアを跨ぐ際の乗継時は2回乗車したもものとして利用者数を算出(ダブルカウント)していたが、運行エリアを市内全域に一本化し乗継を廃止したことから、利用者数の算出方法をシングルカウントに変更した。

令和3年度は運行形態変更(車両数増)に伴い委託料が増となり、利用者数の算出方法も変更したことから運行経費が大幅増となった。

利用促進の取組

- 運転免許証自主返納者、75歳以上の高齢者の外出支援事業としてデマンド交通の回数券を交付し、利用者の増加や利用促進に努めている。
- 「おでかけ号通信」を発行し、デマンド交通の現状を定期的に発信している。
- 市産業祭に出展し、公共交通のPRを実施した。
- 栃木県においても小学生を対象とした副読本(電子データ版)を発行し、公共交通の利用に結び付ける取り組みを実施している。

**75歳以上の市内在住の高齢者の方へ
デマンド交通「おでかけ号利用券」交付**

車は、電車・バス等の交通機関を利用することが困難な75歳以上の高齢者に対して、外出支援や社会参加の機会を創るための利用券を交付します。
交付のためには申請をいただく必要があります。

おでかけ号を利用して
外出しませんか？

デマンド交通「おでかけ号」は
電話予約 ☎ **0120-11-1646**
0285-38-9705 → お客様の自宅まで「おでかけ号」がお迎え
他のお客様も乗車いただけます
→ 目的地までお送りします




おでかけ号通信 3
令和6年9月発行

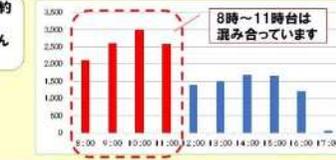
おでかけ号通信第3回目は、令和5年度の「おでかけ号」のご利用状況をお知らせします。

利用者数	行き先トップ3 (自宅を除く)
● 年間 17,827人	1位 石橋総合病院 1,112人
● 1日平均 約60人	2位 自治医科大学附属病院 827人
	3位 小金井中央病院 417人

利用者の8割が70歳以上の方です。

時間帯別 利用者数

午前中は、利用者が多く予約が集中しているなあ・・・
午後は、比較的空いているんだね！



8時～11時台は
選み合っています

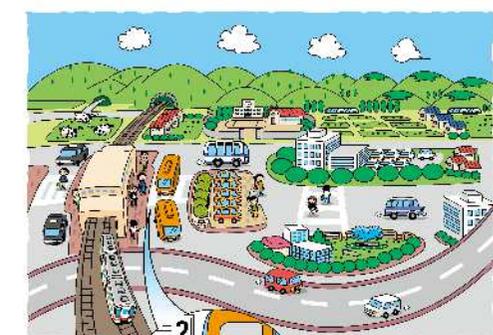
運行にかかる経費
令和5年度運行経費(1人あたり)

1,907円	運賃(大人) 300円
	市負担 1,607円

1人300円で利用できるけれど、市が1,607円を負担しているんだね。

☎「おでかけ号」に関するお問合せ先☎
下野市安全安心課 ☎0285-32-8894
おでかけ号予約センター ☎0120-11-1646/0285-38-9705

みんなでのろう
2024
のりもの・のりかたガイドブック
バス・列車



とちぎけん
栃木県